

幼子とともに

3月号

はじめに

2023年度、運営年度最後の一カ月となりました。至らぬところもありましたが、この一年間、沢山の協力、そしてご理解を賜り、心より感謝を申し上げます。子どもたちは、新しい歩みに向かって、希望と不安を繰り返しながら過ごしています。場合によっては、幼い時分に帰っていく姿も見られるかと思いますが、発達とは、行って、帰ってを繰り返しながら前進していくものです。大切なことは、子どもたちの「今」をそのまま受け止めていくことであると思っています。子どもたちの新しい歩みが、神様の祝福の中にありますように、心よりお祈り申し上げます。

ほっこりエピソード

ある日、ばら組さんのお友だちが、ポケットに手をつっ込みながら、こう言いました。「おうおう、おれはヤンキーや。殴るぞ！」なんだか物騒なお言葉です。園長は、すぐに「そんな悲しいこと言わんといて！」と返しました。すると、その子は、次のように言いました。「おうおう、俺はよ～園長に早く抱っこしてもらいたいんだよ！」この年度で、一番笑ったかもしれません。新喜劇を彷彿とさせる言葉のセンスでした！正に、緊張と緩和ですね(笑)

この三年間で、様々な経験を通して、沢山の言葉を覚えた子どもたちですから、その言葉を様々な状況に応じて発していく力があるのだと思いました。言語・発語の発達は、親の悩みの一つであるかもしれませんが、ぜひ、子どもたちの些細な声にも、耳を傾けてみてください。子どもたちは、お父さんやお母さんに聞いてもらっている、というだけでも、嬉しく、楽しく感じることでしょう(▽)/どんな言葉であっても、お話をすることが楽しい、嬉しい、そういう気持ちを大切にしていければと思っています。

礼拝が中心～愛とは何か～

越谷幼稚園の活動の中心には、「礼拝」があります。すべての子どもたちが、礼拝を通して、神様の愛や恵みを心に留めて、新しい一週間が始まります。状況に応じて、子どもたちの聞き方は変わりますが、神様の愛や恵みのメッセージは変わることはありません。

聖書における「愛」には、4つの言葉が用いられています。アガペー、エロース、フィリオ、ストルゲです。アガペーは、「聖なる愛」「神様の愛」「無償の愛」を意味し、エロースは「人間的な愛」「肉的愛」、フィリオは「友情」、ストルゲは「家族愛」です。この中で、一番、用いられる言葉は、「アガペー」です。

アガペーには、「価値を生み出す」というニュアンスがあります。決して、「価値を付ける」という意味ではありません（それは「エロース」）です。価値を付けるという場合、それは、人間の価値基準が中心となりますが、「価値を生み出す」と言う場合は、無価値に見える存在に対して、神様が「価値を生み出してくださる」という意味が含まれているのです。そして、私達人間もまた、このアガペーに生きることが大切であると、聖書は示しています。

考えてみれば、子どもたちは、大人の目からみれば、無力です。人生4、5年程度しか生きていない子どもたちに、大人と同じ働きを求めることは無理があると思います。ですから、私達が大事にしたいことは、「それぐらいでいい」という心持ちであると思います。それぐらいでいい！それでもいい！そんなあなたに価値がある！そういう気持ちへと変換していくことで、親自身においても、心の余裕が生まれるのかもしれません。そして、忘れてはいけないのは、神様の愛は、子どもたちだけではなく、皆さんの上にも、豊かに与えられているということです。

子育てに決められた正解はありません。正解があれば、子どもたちはみな、同じように、ロボットのように

育っていくことでしょう。しかし、子どもたちは、みんな違いますし、発達の速さも違います。そのありのままをそのまま受け入れ、そこに価値を生み出していけるならば、それが、みなさんにとっての子育ての正解なのです。こうでなければいけない。こうさせなければいけないという部分も大切ですが、まずは存在をしっかりと受け止め、価値を生み出すところから、子どもたちとの生活を始めて参りたいと思います。

卒業に思いを馳せて～自立とは～

いよいよ、年長組のお友だちが卒業します。新しい歩みの上に、神様の祝福が豊かにありますように心よりお祈り申し上げます。親としては、小学校入学に当たり、できるだけ、自分のことは自分で、言うならば自立してほしい、という思いがあるかもしれません。

しかし、人間は、誰もが一人では生きられません。誰かの支えが必要なのです。そうでありますから自立するためには、何かに依存しなければいけないのです。言い方を変えるならば、「助けて！」と言える心が大切なのです。色々な助けを得て、あるいは、助けの中で、人間は、初めて、自立をしていくのです。ぜひ、子どもたちの「助けて！」という言葉に耳を傾けて頂ければと思いますし、子どもたちが、素直に「助けて！」と言える環境づくりをしていただければと思います。

そのためには、家に帰ってきた子どもたちに対して「早く、宿題しなさい！」「宿題やってから遊びなさい！」はご法度です(笑)。「今日は何が楽しかった？」「今日しんどいことあった？」のように一日を一緒に振り返ったり、子どもたちが何を思って今を過ごしているかを確認したりするところから会話を始めてあげてくださいな(o^ー^o)コ

園長 須賀 工

【栄養士だより】

《食生活を振り返って》

3月に入り、どの子もみんな大きくなったなぁと、次のステップに向かう準備ができていることを感じています。一年を振り返りながら、食生活について、お子さまとお話ししてみたいはいかがでしょうか。

食事は健康な身体をつくるだけでなく、生活の基本であり、共に食べることにより良い交わりが深められます。9月からお便りさせていただいておりますが、食卓の場は食育の絶好のチャンスです。料理に入っている食材を伝え、その食材を食べるとどんな良いことがあるのか、ですとか、よく噛んでゆっくり食べることの大切さや、一緒にお話しながら食べると楽しいということを子どもたちに感じてもらえるといいなと思います。

以前はあまり好きでなく食べられなかったものが食べられるようになったものがあれば、それはとても嬉しいことですね。忙しく過ごす日々の中で、多くに時間を費やすことは難しいかも知れませんが、ほんの少しでも笑って食事を楽しんでいただきたいと思います。何かわからないことなどありましたら、ぜひお声がけください。

いけだかすみ

【お知らせ】

2023年度3月末をもって、重光佳幸さんが、退職されます。長い間、越谷幼稚園のために、ご尽力賜りましたことを、心より感謝申し上げますと共に、新しい歩みが、神様の祝福の内にありますように、心よりお祈り申し上げます。

